

次期の三重県行財政改革取組（素案）に対する

意見集約結果

令和元年10月18日

全員協議会

次期の三重県行財政改革取組(素案)に対する意見

【総務地域連携常任委員会(R1.10.10)における意見】

番号	項目	意見の概要
1	現場重視の理念	次期計画では「現場重視」という言葉がなくなっているが、三重県における行財政改革取組の推進にあたって共通認識であるべき「協創」の実現には、「現場重視」の理念は今後も引き続き忘れてはいけない重要なものであると考えるため、今後の取組においても明記されたい。
2	スマート自治体の推進	スマート自治体の推進にあたっては、生産性の向上と正確性の確保を目的としているが、それをゴールとするのではなく、取組の推進により生まれた時間を人にしかできない業務に専念するなど、その先にあるめざすべき姿を明らかにして取り組まれない。
3	コンプライアンスの推進	行財政改革取組は知事部局の計画だが、県民からの信頼を回復していくためには、知事部局のみならず教育委員会、警察本部など全職員のコンプライアンス意識を高めることが重要であるため、コンプライアンスの推進にあたっては、それぞれの組織での推進体制や取組について、3者が揃って説明をするなど、連携して取り組まれない。